

何度も秩父を走る機会があったしドライブラリーのコースで近くまで行くことがあったにも関わらず、いまだ**三峯神社**に行ったことがないことに気づき、今回の企画はスタートした。以前から気になっていたといえばPDQMで訪れた山奥の食事処「**赤久縄**」。これも約40年前の記憶。そばの瑞々しさを表現するならば、まるで清らかな水を食べているかのようなだった。果たして今でも味わえるのだろうか。この**赤久縄**と三峰はうまくルート上でつなげそう。スタートは**甘楽スマートIC**近くに置き、南下しながら**赤久縄**を目指す序盤、ダムや道の駅や恐竜の里を経由し秩父へ近づく中盤、終盤はひたすら三峰を目指すルート。しかしゴールを**三峯神社**には置かなかった。調べたところ祭事や季節によって**二瀬ダム**の先の一本道は渋滞となり到着に6時間かかることもあるとか。興味ある方のみゴール後に参拝いただくことにした。もちろん私は遂に参拝を果たしたのであった。

赤久縄のそば



万葉豆腐



三峯神社一乃鳥居



S-1 CP



甘楽と言えば松本さんのコースによく登場するが、スタートも1CPもまだ使われていない場所のはず。1CPの**甘楽総合公園**は広くてもっと出題が可能だったが、先は長いのでここでは駐車場から余り離れていないエリアで完結させてある。なお試走時はいずれも休日で駐車場は6割～9割埋まっている状態だった。満車の場合は公園の北端および南端の駐車場に回ってください。この場合クイズ地点へは300-400mほど。

1-3 CP

今回の目的地の1つ、**赤久縄**へ向かっていくが、途中で珍スポットに寄るルート取り。この珍スポット、ちゃんと地図にも載っているのがすごい。さらにここのご主人は1日市長も経験されている地元では有名人だとか。興味ある方はご観覧ください、入場自由で無料。興味ない方は車中からクイズに解答してさっさと出発を。Xクイズはここにはありません。

2CPから先は徐々に山道となる。途中**こいのぼりの里**を通過するが季節ではないので特に見るものはない。ちなみに私が試走を開始したころは、ちょうど大量のこいのぼりを鑑賞することができた。結構な山道を抜けて**赤久縄**にたどり着いた記憶があったが、その記憶は正しかった。店への分岐点にCPを



置いたので、蕎麦や囲炉裏焼きが好きな方は立ち寄ってください。昔は釣り人と登山者ばかりだったが、いまは家族連れで賑わっている。順番待ちと給仕待ちで食するまで1時間ほどかかったが、目の前の囲炉裏で焼く魚は格別だ。

お店紹介

「赤久縄」(3CP)

PDQMでも紹介されたそばと囲炉裏焼きの店。こんな山奥なのにとっても賑わっている。そば(650円)は記憶とは異なったが美味。ほとんどの客は囲炉裏で焼く魚(600円)を注文する。ちぎりこんにやく(350円)もお奨め。木曜定休(祝日は営業し水曜休み) 10:30-18:00



お店紹介

「道の駅万葉」(5CP)

赤久縄での食事を見送った方はこの食堂がお奨め。メニューが充実。お腹いっぱいの方は単品で万葉豆腐を。地元のあわばた大豆を使った逸品。

火曜定休10時半～15時ころ(土日祝)
平日は前後30分ずつ短くなる



3-5 CP

赤久縄から先は徐々に下りになる。有名な御荷鉾林道が交差するが、いまは舗装されており今回はパス。未舗装だったときに走破したことがあるが、あの道をサイレンを鳴らしながら救急車が対抗してきて「この先から救援要請があったが場所が分かるか」と聞かれたことを思い出した。

下る途中に現れる塩沢ダムにCPを置いた。出題ネタが多く絞るのに苦労した。試行錯誤の結果、数えるのに苦労するクイズになってしまった。苦労のお裾分けです。

国道に出て間もなく道の駅万葉。「まんよう」ではなく「まんば」と読む。この食堂で提供される万葉豆腐は絶品で超おすすめ。ねっとりという表現がドストライクに正しいその食感に驚く。単品でも注文できるし、一部の定食にはセットで付いてくる。お土産コーナーでも売っているが、持ち帰るには保冷箱のご準備を。

5-9 CP

ここからは秩父に向かっていくルート取り。当初は矢久峠を経由するルートで一旦作成したものの、山道としては楽しめるのだが狭い区間も多く道もいいとは言えない。舗装路なのに車が泥だらけになる。そこで299号経由で秩父に向かうルートに切り替えた。途中には恐竜の足跡という面白い場所が。ここは以前尾針さんも出題されたポイントだが当時と状況が変わっていることもあり、CPとクイズを設置。この先の区間は試走のたびに工事箇所が変わり片側通行となっていたので、走行日により条件が変わってしまうことを懸念し距離計測対象外とした。



しばらくテイスティでない山道が続くが、ようやく小鹿野町に近づいたところにまったく記憶にない犬木の不整合という案内板に気付きCPに採用。肝心の不整合の地層を見るにはかなり足場が厳しそうなので、CP周辺での出題とした。

次のCPを置いた**道の駅両神温泉薬師の湯**は、SAQR14番外編でゴールとした場所だ。出題は近くの**神怡館**を採用するつもりだった。ここ旧両神村には、埼玉県と中国山西省が友好都市の関係だったことから中国ゆかりの施設が幾つかあり、**神怡館**もその1つ。いまは全国でも珍しいボルダリング専用施設として全国大会が開催される施設に生まれ変わった。しかしクイズ作成時はちょうど大会と重なり長居できなかったため出題をあきらめ退散。また施設の隣には現地で人気のカレー専門店もあるが、広い割に席数が少なく入場待ちと給仕待ちで1時間近くかかったのでおすめを止めた。クイズのほうは、代わりに道の駅の少し手前にある手前の立派な**薬師堂**から出題。



9-F CP

三峰までもう少し。10CPの近くには、**三峯神社**への表参道入口にある**一之鳥居**がある。この鳥居の前でYJギャルと撮影をした思い出の場所だ。当時は三峰山頂へのロープウェイが発着しており賑わっていた。このロープウェイは2006年ころまで運行されていた。現在は周辺が寂れてしまったため鳥居の立派さが際立って見える。



ゴールは**二瀬ダム**に置いた。ここからはかつて有料だった三峰観光道路(今は**県道278号**)で登っていけば**三峯神社**の大駐車場に行けるのだが、調べたところ祭事や季節により、すれ違いできない区間もあるからか、この道が大渋滞になるらしい。よってコースとしては**二瀬ダム**で打ち切りとし、参拝をする方のみ先へ進んでください。

